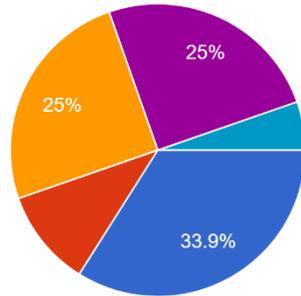


平成 30 年度 定点景況調査【2月分】

業種

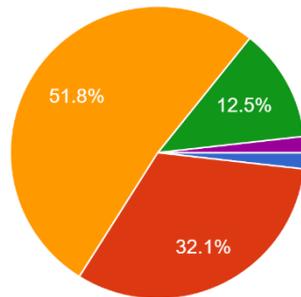
56 件の回答



- ①製造業
- ②建設業
- ③小売業
- ④卸売業
- ⑤サービス業
- ⑥その他

1. 今月の景気

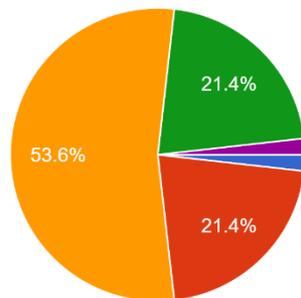
56 件の回答



- ①良い
- ②やや良い
- ③どちらとも言えない
- ④やや悪い
- ⑤悪い

2. 今後2〜3カ月先は良くなると思うか

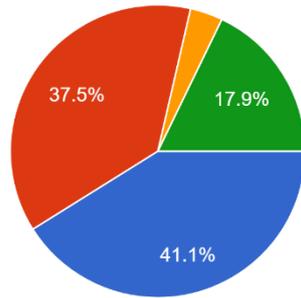
56 件の回答



- ①良くなる
- ②やや良くなる
- ③変わらない
- ④やや悪くなる
- ⑤悪くなる

上記1、2のようになると思われたのはなぜか

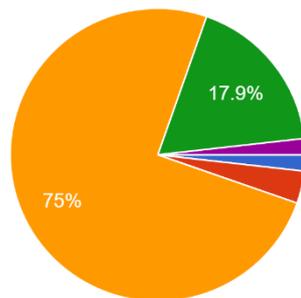
56件の回答



- ①客数の動き
- ②受注量・価格の動き
- ③同業他社の動き
- ④取引先の動き
- ⑤求人数の動き

4. 周り（自身を含め）の消費意欲

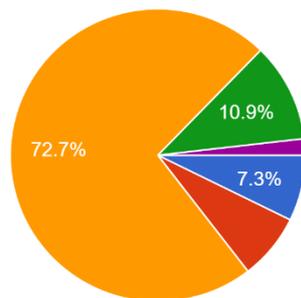
56件の回答



- ①高い
- ②やや高い
- ③変わらない
- ④やや冷え込んでいる
- ⑤全く冷え込んでいる

5. 自社の資金繰りは順調と思われるか

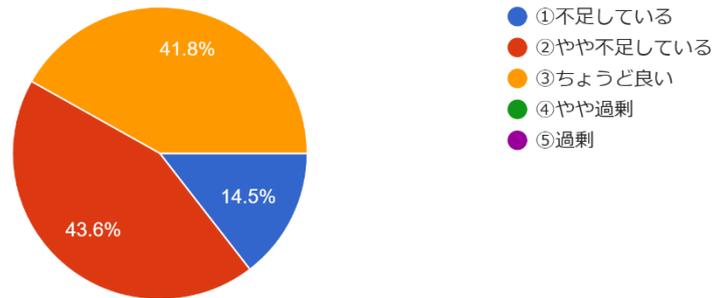
55件の回答



- ①良い
- ②やや良い
- ③変わらない
- ④やや悪い
- ⑤悪い

6. 自社の従業員の過不足感

55 件の回答



7. 自社の経営上の問題点や困っていること等

タクシーの他にデマンドバスを運行。西部山間部は街灯が少なく、夜間走行時に動物等が道路にいることもあり、事故につながらないか困っている。(タクシー業)

団地内企業では、建築業関係は好調に推移、木工関係は特段変化ない状況。(団地協同組合)

売上高前年同月比 10%減。(青果物小売商組合)

若い人材が確保できない。(木工業)

受注は順調。3K 職種のため、より人材確保が難しい。(建設業)

受注が減少(建設業)

客数は変化なし(土地家屋調査士)

若年層の雇用確保には休日確保などの待遇面といわれるが、給与のウェイトも依然大きいようである。業種格差があるかどうか統計的なものがあれば知りたい。(建設業)

受注は前年より減少傾向、操業度もやや低下。人材不足・技術者承継等は依然課題。(機械金属業組合)

物流・運送関係の人手不足や高齢化(身近なドライバーは 60 歳以上)は製造業にも大きな影響あり。(木工業)

デフレ基調により受注が低調。現場労働・作業技能意欲が低下している。(木材加工業)

国の税法が厳しくなる。(生命保険業)

新年度の業務問い合わせや先行発注有り。働き方改革関連法について、知れば知るほど煩雑だ。(システムサポート業)

受注量増加見込み。求人を出しても人が来ない。(金属加工業)

キャッシュレスに不安あり。(飲食業)

3 月は歓送迎会で予約増が見込まれる。調理スタッフがやや不足気味。(飲食業)

年度切替時期は例年客数が増加。(パソコンスクール)

季節的要因か？客数やや減少。(衣料品小売業)

物流の動きが悪い、荷受け先がないことがある。(生花販売業)

受注が例年より増加。(金属製品製造業)

年度末異動時期の宴会予約に期待。(飲食業)

従業員の高齢化。(新聞販売業)